

(様式3)

### 自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念の中に「地域とのふれあいを通じ地域社会に貢献する」と掲げてあり、「グループホームが地域の中であり、その場に生活がある。」ということスタッフも理解して取り組んでいる。	
2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議で説明している。また、フロアーの見やすいところに掲示している。日々、職員と管理者による話あいを持ち取り組んでいる。	
3	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	自治会会長・民生委員・老人会会長など地域の方が見学に来られた際には説明している。また、運営会議・家族会を通し説明し面会時にも目に留まるようにフロアー内にも掲示させてもらっている。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎朝、玄関前を掃除し声を掛け合ったり、挨拶をしたり出来ている。また、公園散歩・外出時その場の地域の方々と会話したり交流する場面を作っている。イベントへの参加の誘い(チラシを配布)をしている。	ホーム前が公園になっており、公園に来られている方から気軽に声をかけて頂いているので、今後も交流を深めていきたい。
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会に加入し、行事である餅つき・祭りには積極的に入居者様と参加し交流している。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	運営推進会議の中で地域行事であるふれあい喫茶 などの開催に協力していただけないかとの意見が あり、交流の場として役立てている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 第三者評価を実施する意義を理解し、評価 を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者が会議にて第三者評価につき説明し職員全 員が評価票に目を通しその場で改善策を職員全 員で検討し改善に取り組んでいる。		スタッフ全員が評価表に目を通すことで改善に取 り組もうとする意識をもっている。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	会議では、出来るだけホームからの報告に終わら ず地域包括支援センター・自治会メンバー・家族 代表からも意見をもらいサービスの向上に取 組んでいる。		
9 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以 外にも行き来する機会をつくり、市町と ともにサービスの質の向上に取り組んでいる	自治会・警察・消防との連携と協力をお願いして いる。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要 人にはそれらを活用できるように支援して いる	管理者が必要な方には説明している。また、職員 も会議で話し学ぶ機会を得ている、		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	全体会議の中で説明がされている。毎週DRの往診 があり、面会も自由に出来ることで自然に外部 チェックが働き虐待防止に繋がっている。また、 言葉使い・接し方など気になる場合は注意しあ える環境がある。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前に十分説明し質問できる時間を十分にとっており、説明・質問事項について納得して下さっている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者が入居者様と話ができる場面を多く持っている。面会が自由なため、入居者様が面会に来られた家族様などと話を出来る場面がある。</p>	<p>管理者は、ご家族様が面会に来られている時に意見をいただけるように話せる機会を多く持っている。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月家族様へ入居者様の状況報告の手紙を送付している。毎月家族へは預かり金の収支報告をしている。</p>	<p>ご家族様から、毎月手紙に写真を添えたりすることで入居者様の暮らしぶりがわかり「楽しく過ごしていることで安心しています。」という声をいただいている。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会者は事務室前を通るため責任者と話が出来る場面がある。ご家族様がいつでも訪問できる環境づくりが出来ているので、入居者様の暮らしぶりをいつでもみて頂ける。また、管理者やスタッフとも気軽に話しができるので何かあればすぐに言って頂ける。家族会での意見なども会議で職員に周知されている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月の会議・リター-会議などでスタッフの意見を聞く機会を持っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	重度な入居者様の入浴や通院介助などでスタッフが通常より多く必要な場合は、スタッフを1名多く配置するなどしている。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者様の不安を軽減するためスタッフを固定し顔なじみのスタッフでの支援に努めている。また、スタッフの異動を考え行事などでは他ユニットのスタッフも気軽にかわり馴染みの関係を作れるようにしている。		ユニット間で交流があるため、他ユニットのスタッフも気軽に入居者様に声掛けができています。
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修計画を作成し施設内での研修、施設外への研修への参加を啓発指導している。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	必要に応じて他のグループホームと情報交換を行なっている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者やスタッフと常にコミュニケーションをとっており問題が大きくなるようにつとめている。また、フロアリーダーが話しを聞いたり、管理者に相談したりしスタッフ間・管理者・運営者の意思疎通がスムーズにできるように努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	会議での勉強会・参考資料の配布・研修会参加などを行い職員のレベルアップを図っている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23 初めに築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ホームの見学時、入居申込み時、入居前にご本人や家族さまから情報収集を行い支援していく上での注意点をさくっている。		居宅介護支援事業所の担当ケアマネからも広く情報を収集し入居後の生活にいかすようにしている。
24 初めに築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学時や入居前に家族様からの要望・困っていることを聞いている。		
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けご本人の状態を聞き、適切なサービスのアドバイスを行なっている		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にご本人に見学に来て頂きホーム内・居室をみていただいている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>同じ目線で話し、互いに「ありがとう」の言える関係が築けている。また、日々の声掛け・傾聴にて対応するように努めており「家族」の感覚をもって対応している。</p>	<p>日常生活の中でさりげなく「ありがとう」の言葉がスタッフ・入居者様間でしているのでこの姿勢を崩さないようにしたい。</p>
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会に来られたご家族様と会話する場面を作り共に問題解決できるようにしている。また、病院受診など協力していただけたところは協力を呼びかけたりお願いしている。</p>	
29	<p>利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している</p>	<p>生活歴・家族状況などを参考に本人やご家族と会話している。職員が間に入ることで本人とご家族が円滑に接したり会話できるようになっている状況がある。また、ホームでの大きいイベント時には家族への案内も出し、交流できる場面をつくっている。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>専用の電話機を設置したり、年賀状などでやり取りできたり、気軽にご家族・ご友人が訪問されたり外出・外泊ができている。</p>	<p>ご家族が入居様の部屋で共に宿泊されることもある。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>座席の位置など入居者様同士が話しやすいように配慮したり、輪に入って頂ける環境をつくっている。</p>	<p>入居者様同士がお互いをかばいながら行動されている姿があり、スタッフは手を出し過ぎないようにしている。</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退居された後も手紙・はがきを出したり、他サービスの利用に至った方には面会に行かせて頂いたり関係を継続している。</p>	<p>退居された方に暑中見舞い・年賀状を出し近況をお伝えしたら返事が返ってきた。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式での情報の把握に努めたり、入居者様との雑談の中から「希望・思い」を聞き出すように努めている。新しいニーズが出た際は、担当者会議を利用し検討している。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴や入居前に得た情報などをスタッフ全員が情報を共有し介護計画に反映させている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>入居者様個々の居心地の良い場所になっているか・問題点はないかなどをスタッフが意見を出し合い話しあいながら対策を検討・実行し成果を話しあっている。</p>	<p>入居者様お一人おひとりが持っている力が発揮出来るようにスタッフが意見を出し合い努力していきたい。</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族の希望・意見などを入れながらカンファレンスにて具体的に検討し作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書は3ヵ月に1度の見直しをおこない、入居者様の状況変化にあわせ本人・家族の希望をいれ対応している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>生活記録は個人記録として記入し介護記録は一目で身体状況が把握できるようにして情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。</p>		<p>スタッフ全員が身体状況の変化を把握できるように、医療面のノート・申し送りノート・1か月の健康管理表などわけて細かく記入している。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご家族さまの宿泊、近隣の方の介護相談を受けたり他施設などを紹介したり柔軟に対応している。</p>		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>地域ボランティアの方々と共に書道・絵手紙・音楽療法・踊りなどのレクリエーション活動を行っている。また、地域行事に参加したり、ホームの横が児童館なので子供達との交流もある。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>ご家族さま・入居者様の意向に応じて他サービスの利用をを支援している。</p>		<p>日常生活の中で出来る嚥下体操などを食事前に行なっている。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加を求め相互に情報交換をしている。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院を伝えた上でかかりつけ医の継続されるか、変更されるかをご本人・ご家族の希望を聴き対応している。協力医院の内科からの往診が週1回あたり、入居前のかかりつけ医への受診にも柔軟に対応している。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	心療内科医の定期的な往診が月1回ある。また往診時・受診時・電話で相談したり協力を得ている。出来るだけ入居前のかかりつけ医への継続受診をお願いして頂いている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師を介護職員として配置しており、健康管理・身体状況を把握し変化に対応できるように常にDRと連絡をとり支援している。		看護師がいる事で健康面での小さい変化に気づき早めにかかりつけ医へ相談できているのでこの体制を継続したい。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者様が入院した際は、スタッフが頻回にお見舞いに行き病院関係者との情報を密にしている。また、退院にむけてご家族・医師との説明に看護師・管理者も同席させていただき退院後の生活支援を検討している。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化及び看取りに関する指針を入居時・家族会で説明しご家族・ご本人の意向を聴きだし主治医・ご家族と連絡をとりながら方針を共有している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化及び看取りに関してご家族・ご本人の意向を聴きだし主治医・家族と連絡をとり要望を受け入れながら入居者様が安心して最期を迎えられるように職員間でも情報を共有し同じ方針で協力して支援に取り組んでいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止  利用者が自宅やグループホームから別の 居所へ移り住む際、家族及び本人に関わる ケア関係者間で十分な話し合いや情報交換 を行い、住み替えによるダメージを防ぐこ とに努めている	入居者様やご家族様に移り住むことに 対し十分理解していただけるように話し 合い、移り住む先から現在のホームに 見学に来て頂きホームでの生活をみ てもらい情報交換・意見交換を十分行 ないながら移られた後のダメージの防 止に努めている。また、移られた後 にもご家族様と連絡をとったり、面 会に行く機会を持っている。		入居者様からも別の居所へ移られた 方を思いスタッフに尋ねられる入居 者様もおられるので、機会があれば 入居者様と共に面会に行くなどし たい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損 ねるような言葉かけや対応、記録等 の個人情報の取り扱いをしていない	職員会議で研修し職員が認識して いる。また、日常の言葉使いや排泄 ・更衣などの対応にも配慮している。 個人記録簿の保管は施錠できる場 所で管理している。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  利用者が思いや希望を表せるよう に働きかけたり、わかる力に合わせ た説明を行い、自分で決めたり納 得しながら暮らせるように支援を している	必ずご本人の希望確認を行ない、 返答がない場合は質問方法を変 えたりし仕草などから要望や希望 を汲み取るように対応している。		1日ノートの記入の際、その時の 入居者様の言動・表情なども記入 しそれを生活記録に残している。
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先する のではなく、一人ひとりのペース を大切に、その日をどのように過 ごしたいか、希望にそって支援 している	日常生活は本人のペースに合わ し一日をどのように過ごしたいか 本人への確認を行いその方が楽 しいこと、やりがいを感じるこ とを中心に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃ れができるように支援し、理容・ 美容は本人の望む店に行けるよ うに努めている	ご本人、ご家族様にお聞きしそ の方にあった服装をしていただ いている。理容、美容院へは付 き添い出かける支援をしている。		近隣の美容室に出かけられない 方には、美容室から来て頂 けている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者様個々のできる範囲で配膳・食事準備・盛り付け・御盆拭き・食器洗浄などをして頂いている。食事を楽しんでいただけるように職員も一緒に食事をしている。</p>	
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>飲み物は入居者様に希望を聞き確認している。また、季節を感じて頂けるように工夫している。</p>	<p>新年のお茶会は、お抹茶をたてて頂いたり、誕生会のケーキづくり・季節折々のお菓子づくりなども入居者様のできる力を低下させず継続できるように毎月計画し継続して楽しんでいただけるようにしている。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>入居様一人一人の排泄パターンを把握して、トイレでの排泄を声かけしている。</p>	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴時間を定めているが、ご本人の希望によりいつでも入浴できるようにしている。また、季節折々の入浴も楽しんで頂いたり、入浴された以外の方は毎日足浴を行ない心地よく楽しんで頂いている。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>就寝・起床時間は決めておらず入居者様のペースに合わせて、その日の体調に配慮し支援している。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>その方の得意なこと、役割を活かせるような場面を日常生活の中で見つけ出来ることの支援をしている。季節折々の行事は入居者様の声を聞き共にポスターを作ったりしながら楽しく参加できるようにしている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望に添ってその方にあった金額の管理をして頂き、入居者様によってはご本人の金銭出納帳への記入もお願いしている。金銭管理の難しい方については買い物時・初詣などの外出時にお金をお渡ししご自分で支払って頂けるように支援している。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者様の行きたいところをお尋ねしたり、散歩・買い物・ドライブ・外食などをおこない楽しんで頂けるように支援している。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	コンサートに出かけたり・ご家族と共に生まれ故郷に行かれたり、毎月外泊されたり、毎週日曜日に外出される方などもおられ家族との出かける機会がある。		ご家族の休みを利用し岡山県・富山県など生まれ故郷に帰られ親戚と対面をはたされた方もある。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様専用の電話があり、いつでもやり取りができる環境がある。また、年賀状・暑中見舞い、退居された方にもはがきを出したりやり取りの出来る支援をしている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問して頂けるように普段から訪問しやすい雰囲気づくりをしている。入居者様と共に宿泊されるご家族さまもある。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	全体会議・カンファレンスにおいて管理者より説明と指導がありスタッフ全員で認識し取り組み共有できている。		今後もスタッフ全員へ会議・カンファレンスを通し意識付けを継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関・エレベーターの鍵はかかっておらずいつでも自由な行動を支援している。</p>	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>日中はスタッフが一緒にいることで入居者様の状況を把握している。夜間はこまめに巡回し安全に配慮している。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>ハサミ・針などはスタッフ側で管理させて頂いているが希望すればいつでも使用できる。また、日常生活の中で危険な物を取り除くのではなくスタッフが気をつけることで危険を回避している。薬は施錠できる保管庫に保管している。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>入居者様の身体状況を把握し危険を予測し事故防止に努めている。また、ヒヤリハット報告書を作成し会議などで情報を共有し対策について話し合っている。ご家族への連絡も即時に行なっている。</p>	<p>日々、入居者様の状況をみながら、スタッフ間で情報交換しながら事故防止に取り組んでいきたい。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>緊急対応マニュアルを作成している。また、看護師より応急処置・初期対応についての話がされている。</p>	<p>看護師が常勤勤務なので、色々その場で質問し勉強できる環境になっている。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防訓練を実施している。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時・家族会・面会時に入居者様の身体状況をお伝えしリスクについての説明をさせて頂き理解と同意を頂いている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日看護師がバリエーションを行ない常に入居者様の変化に注意を払っている。また、異変時は看護がかりつけ医と連絡し対応している。		
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師による管理・指示・指導体制がある。また、看護師が服用している薬の効能をファイルしているのいつでもスタッフが薬について学べるようになっている。		
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事摂取量・水分摂取量の把握に努めている。また、体操・散歩など身体を動かすことを積極的に行なったり牛乳や水分を十分取って頂くようにしている。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	スタッフの中に歯科衛生士の資格を持っている者がおり、研修会でスタッフが必要性などを学び再確認したり毎日、起床時・三食後・就寝時一人一人にあった支援をしている。		食後、歯磨きを嫌がられる方に対し、スタッフも一緒に歯磨きを行ない出来るだけご本人にして頂けるようにしている。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	スタッフが一緒に食事を摂ることで入居者様一人一人の好み状況が把握できている。また、一覧表があり1か月の状況も把握できるようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがある。管理者よりその都度、予防対策の話しや指示・資料回覧がある。入居者様もスタッフも手洗い後消毒液を使用している。インフルエンザ予防接種を毎年おこなっている。		洗面所での手洗いができない方には食事前には手浴をおこなっている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器は食器洗浄乾燥機にかけている。また、まな板・布巾などは毎日漂白している。毎日冷蔵庫内のチェック・掃除をし賞味期限切れの物がいないか調べ清潔保持している。		今後も衛生管理を徹底して継続していきたい。
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	各ユニットの玄関には、季節の花や入居者様の作品などを飾っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用場所は入居者様の作品で飾られている。また、リビングから山が見え季節の変化を知ることができたり、散歩でつんできたお花をテーブルに飾り季節を感じている。できるだけ、自然の風を入れたりBGMをながしたり心地よく過ごしてもらるようにしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファがあったり、共用場所には一人用の椅子などがあり自由に座れ入居者様同士話をされる場所がある。		入居者様によっては、お気に入りの椅子があり、その場で過ごされることも多い。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具・仏壇など様々なものを持ち込まれ自分だけのスペースになっている。		
84 換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の掃除時に窓を開け空気を入れ替えをしている。また、エアコンはスタッフが入居者の状況を見て細めに調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者が自立した生活を送っていただけるように環境を見直したり検討したりしている。		
86 わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者の状況にあわせ得意なことをして頂いている。また、作品などを作り上げた達成感を味わってもらえるように1年間の作品をまとめご家族の面会時に見て頂いている。ご本人の部屋がわかるようにその方のなじみの深いものを目印にしている。		
87 建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花壇・プランターでの野菜などを栽培したり、ベランダからホーム前の公園を眺めたり季節を楽しんだり洗濯物を干したりして頂いている。		入居者ご自身の部屋でお花を育てておられる方もおられ、リビングにお花を持ってきてくださり入居者様・スタッフを楽しませている。

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

重度化が進む状況の中で理念にある、「入居者様の安らぎと喜びのある毎日を」という言葉をスタッフ全員が理解しており、毎日を「その人らしく」過ごしていただけるようにしております。また、スタッフと入居者様の間で「ありがとうございます」「ありがとう」の言葉がさりげなくでていたり、入居者様の生き生きとした表情が来訪者から「皆さんいい表情をされていますね。家庭的な雰囲気です。落ち着きますね。」など言ってもらっています。入居者様一人一人の個性を大切に、できることを少しでも長く継続できるように管理者・スタッフ一同で取り組んでおります。